

新聞読んだ 考えた

2023年6月28日付24面「県内の小学生にラグビー普及を 釜石シーウェイブス・中村（八戸出身）」

ラグビーリーグワン2部・釜石シーウェイブス（SW）で主力として活躍する中村良真選手（28）＝八戸市出身＝が、7月から、本県や岩手県の小学生を対象とした訪問型ラグビー教室を始める。現在、教室の開催経費や競技面の強化費をサポートするスポンサーを募集している。

八戸学院光星高2年 高橋 胡桃さん



中村さんは、プロ選手と

自分の時間 誰かのために

私は、八戸市出身のラグビー選手・中村良真さんが小学生を対象とした訪問型ラグビー教室を始めるという記事を読んで、自分の時間を使って、誰かや何かのために頑張る人に憧れを
して自分の練習やケアに使う時間が多く必要ははずなのに、県内で小中学生がラグビーに触れる機会が少なく、数年前から個人でラグビーに親しむ機会づくりを
き、自分の成長につながると思うからだ。
ラグビー教室のマネジメント業務は、中村さんの八戸・三条中の後輩で、東京都内を拠点にスポーツビジネスに取り組む奥山大さ

もった。

考えてきたそう。

私も、自分のためだけに行動するのではなく、誰かを思って行動できる大人になりたい。誰かを思って行動することは、相手のためになるだけでなく、自分の価値観を広げることがで

ん（26）が担当するそう
だ。
奥山さんのように、何かをしよとするとする時、自分を助けてくれる人が必ずいると思う。そのような人たちに感謝し、人とのつながりを大切にしていきたい。

中村さんは、プロ選手と